

ざっくばらん、双方向で「集い」 前・現議員大いに語る

「モリ・カケどうなる？」に宮本さん「新ネタで追及します」

宮本岳史衆院議員は20、21日、大阪の4カ所の「つどい」で語りました。高石市（20日）では45分間、党の魅力をつぶし。質問コーナーでは、「森友・加計問題はどうか？」「日本共産党を親しみやすくする取り組みは？」などが出されました。集いの後の入党相談では、1人が決意しました。

21日は和泉市、堺市北区（岡井市議の地域）、熊取町。昨年の特別国会でたつみコータロー参院議員と一緒に森友・加計問題を追及したこと、通常国会（22日開会）でも新たな材料で追及を準備していることを報告。改憲問題では、今年初詣で訪れた神社に憲法改正を求める1000万署名ののぼりが立てられていたことを紹介、掛け値なしで3000万署名を達成しようと呼びかけました。堺市北区の「新春のつどい」には、立憲民主党の森山浩行衆議院議員も参加（写真）。宮本さんは森友・加計問題追及を協力して行ったことを紹介しました。



奈良女性後援会「おしゃべりカフェ」

清水さん 山村・小林県議事務所

奈良女性後援会は清水忠史前衆院議員を迎え、16日、小林照代県議（写真左）、17日、山村幸穂県議（同右）の事務所で「おしゃべりカフェ」を開き、それぞれ20人余りが参加。お茶とケーキでざっくばらんに語りあいました。

清水さんは外交、アベノミクス、改憲問題について報告。「安倍政権と正面から対決する日本共産党を国政でも地方でも大きく躍進させてください」と訴え。「憲法問題では北朝鮮が攻めてくる、押し付け憲法という人が必ずいる」「若者は保守化しているのでは？」「年金がどんどん悪くなって不安」「これで消費税が10%になったら不安」などの質問・意見がいっぱい出され、話が弾みました。

山村、小林両県議は奈良県政が進める大型開発計画の実態を報告、県議選での躍進の決意を語りました。

「資本主義を乗り越える展望を持つ党を伸ばそう」 兵庫で大門ゼミ番外編

「大門ゼミ番外編 in 兵庫—神戸製鋼…相次ぐ大企業の不正、もうけ優先経営でいいのか」（党兵庫県委員会主催）が20日、神戸市長田区で開かれ、会場いっぱいの50人が熱心に聞き入りました。

大門さんは大企業の「倫理欠如」の背景にある新自由主義の横行の経過を説明。「どうするか」について大門さんは、労働組合が金融政策を持つことの必要性を指摘しました。「体制側からも“このままではダメ”との声が出ている。学者がポスト資本主義を論じているが、その主な論は、日本共産党の“資本主義の枠内での改革”と一致している」と紹介。同時に「資本主義を乗り越える理論をもつ日本共産党が伸びる必要があるとのべました。



神戸製鋼やJRの元労働者、港湾労働者、青年などから質問が出され、丁寧に回答しました。「いい会だった」「力がわいた」などの感想が出されました。

【お願い】近畿ブロックニュースを地区委員会や地方議員の皆さんのニュースの裏面に印刷するなどして活用して下さい。改善へのご意見をお待ちしています。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

No. 4(2018.1.25)